

【巻頭言】

## 保健医療学部健康スポーツ科学科完成年度を迎えて — 完成年度記念号の発刊 —

健康スポーツ科学科 学科長 竹島伸生

2017年4月朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科が設置され、今年度で完成年度を迎え、初めて卒業生を送り出す年になります。本学科は、「研究対象とする中心分野を健康科学及びスポーツ科学の分野とし、これに関する教育研究を通して、健康科学やスポーツ科学に関する専門知識並びに高度なスポーツ実践技能及び指導技術さらに社会人としての豊かな学識と社会的技量を修得し、高い倫理観と豊かな人間性と国際性を兼ね備え、社会に貢献できる人材を養成する。」ことを目的として、この具現化のためにすべての教員が自らの研究に取り組み、成果を教育や社会還元することを日々努力してきました。この「健康スポーツ科学科紀要」も4号の発行となります。また、本学科は、この間ハワイ大学マノア校教育学部との学術交流協定を締結し、学生の短期派遣や教員の共同研究などを展開しており、この紀要にもハワイ大学のOba先生など投稿をいただき、活発な研究発表が行われていることは大変喜ばしいことであります。

一方、今年度は、新型コロナウイルスの感染で世界中が混乱し、大学全体、本学科においても授業や研究に支障が生じていることもありました。とりわけ、座学のみで構成できる学問内容でないことから様々な工夫が必要となっています。

学科の完成年度を迎えて、新たなスタートを切ることが求められており、研究の総括をおこなう意味で今回の紀要には通常の紀要の内容に加えて、これまでの教員の研究における業績紹介も含め、現在進んでいる新しいカリキュラムや遠隔授業の導入で取り組んできた本学科とハワイ大学マノア校教育学部 Kinesiology and Rehabilitation 学科の授業を紹介すべく特集記事として掲載する形で学科完成年度号として創刊することに至りました。

新たな学科のスタートを始めるために4年間を振り返り、一層スポーツ科学や体育科学研究の実践と展開を目指すとともに、また日々の学生の指導教育の場に有効な情報の提供としての存在になることを期待しております。